

●今号の主な内容

- 2面 … 立川市の児童・生徒の携帯電話やスマートフォン等の利用状況 / 立川市・大町市姉妹都市中学生サミット
- 3面 … 教育に関する総合的な施策の大綱策定 / 平成28年度使用立川市立中学校教科用図書採択
- 4面 … お仕事のぞいちゃおう！薬剤師編 / お天気のはてな？実験とクイズで学んじやおう

編集・発行 / 立川市教育委員会
 〒190-8666 立川市泉町1156-9
 ☎042(523)2111(市役所代表)
 立川市ホームページ
<http://www.city.tachikawa.lg.jp/>

11.10
 第28号
 平成27年(2015年)
 年3回発行

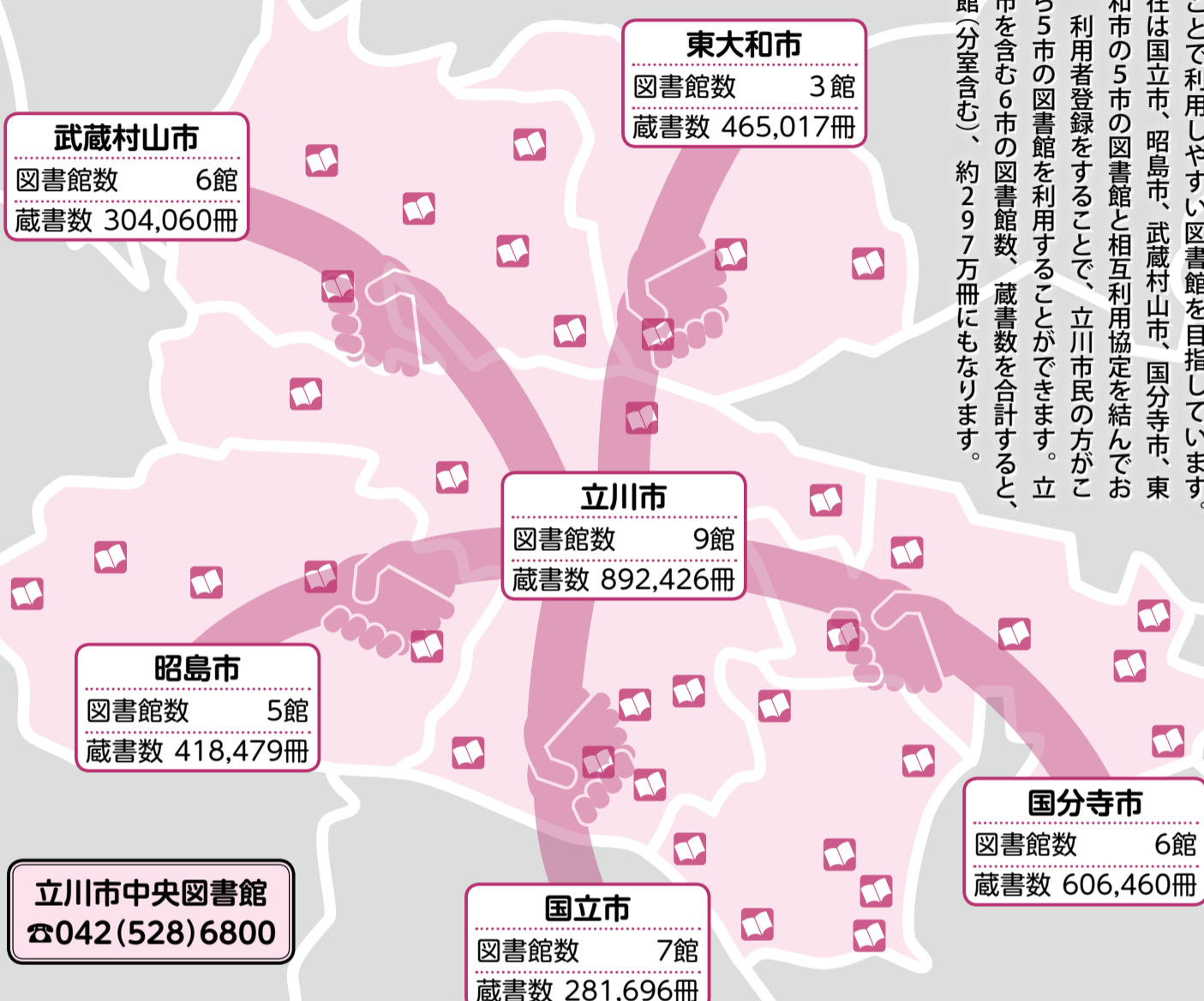
たっちの発行は年3回です。次号の発行は平成28年2月10日です。

たっち

立川市教育だより

図書館の輪！

立川市図書館は近隣市の図書館と連携を強化することで利用しやすい図書館を目指しています。現在は国立市、昭島市、武蔵村山市、国分寺市、東大和市の5市の図書館と相互利用協定を結んでおり、利用者登録をすることで、立川市民の方がこれら5市の図書館を利用することができます。立川市を含む6市の図書館数、蔵書数を合計すると、36館(分室含む)、約297万冊にもなります。



●こちらの図書館配置図の図書館数には、分室を含めて掲載しています。
 ●利用協定を結んでいる市の図書館を利用する場合は、その図書館の利用カードを作る必要があります。詳しくは各市の図書館へお尋ねください。



図書館をご利用ください！
 本は興味を持ったことを調べて知識を身につけるためだけでなく、さまざまな世界への扉を開いてくれます。想像の翼を広げ、日常では経験できないことを体験できるのも読書の楽しみのひとつです。
 立川市図書館は多摩地域でも有数の蔵書数を誇る図書館です。資料が豊富なだけでなく、各館が様々なイベントを行い読書活動の推進を行っています。

乳幼児期からの読書習慣が大切！
 国立青少年教育振興機構が行った読書活動に関する調査によると、就学前から中学時代までに読書活動が多い高校生・中学生ほど、「未来志向」、「社会性」、「自己肯定」、「意欲・関心」、「文化的作法・教養」、「市民性」、「論理的思考」のすべてにおいて、意識・能力が高いという結果が出ています。特に、就学前から小学校低学年までの「家族から昔話を聞いたこと」、「本や絵本の読み聞かせをしてもらったこと」、「絵本を読んだこと」といった読書活動は、「社会性」や「文化的作法・教養」に関係が強いことが分かっています。
 ご家庭での本に親しめる環境づくりに、ぜひ図書館をご利用ください。
乳幼児向けおはなし会は、市内全館で開催中！

「読書は好きですか？」

小学生	選択肢	児童の割合(%)	各教科ごとの平均正答率(%)				
			国語A	国語B	算数A	算数B	理科
	当てはまる	49.0	74.3	70.9	77.8	48.6	64.9
	どちらかといえば、当てはまる	23.8	68.9	64.3	74.7	44.0	59.7
	どちらかといえば、当てはまらない	15.7	66.1	60.7	73.2	42.1	57.2
	当てはまらない	11.4	61.4	53.1	69.6	38.2	52.5

中学生	選択肢	生徒の割合(%)	各教科ごとの平均正答率(%)				
			国語A	国語B	数学A	数学B	理科
	当てはまる	45.1	80.5	70.8	68.1	46.6	58.0
	どちらかといえば、当てはまる	23.0	76.0	66.2	64.8	42.0	53.1
	どちらかといえば、当てはまらない	16.8	72.6	62.5	62.5	38.9	49.6
	当てはまらない	15.0	68.3	57.2	59.5	35.0	45.2

【平成27年度全国学力・学習状況調査抜粋】

読書と学力の関係

左表は平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の抜粋です。国語に限らず全教科で「読書が好き」という傾向が高いほど平均正答率が高い結果が出ています。小学生・中学生ともに読書と学力に関しては相関関係があることが分かります。



中央図書館でのおはなし会の様子